

普遍思想動員運動における朝鮮人民の政治的主体性の展開

ベラルーシ、国立獣医学アカデミー社会人文学部学部長

S. Y. デブヤチュク

国立獣医学アカデミー学生

E. ゴンチャロフ

1945年、日本帝国主義の統治から解放された朝鮮には新しい祖国建設偉業を成功裏に遂行できる広い展望が開かれました。

金日成主席は国が解放された初期から全人民を民族自主精神と建国思想で武装させることを新しい民主朝鮮を建設するための重要な条件の一つとして押し立てました。

主席は人民の思想・意識を改造させるための建国思想総動員運動を発起し、広範な大衆を目的志向性をもって、意識的にこの事業に参加させるための措置を講じました。

主席は建国思想総動員運動を力強く推し進めるために1946年12月、具体的な思想改造課題を提示し、この事業を実践活動と結び付けて全人民的運動として行うようにしました。

主席は、建国思想総動員運動は、思想改造運動として、この運動は全人民的な運動として行われてこそ大きな成果を収めることができると特別に強調しました。

この運動の基本闘争対象は人々の頭の中に残っている植民地的および封建的思想残滓と悪習である奴隸的屈従思想、事大主義思想、民族虚無主義思想、利己主義、墮落的で退廃的かつ、享楽主義的な生活習性でした。

思想教育の基本内容は人民大衆を自力更生の革命精神、自力で難関を克服し、精神で武装し、主人たる立場で新しい国を建設する精神で武装させることでした。

また、人民大衆に活動に対する主人としての態度を教え、崇高な愛国主義思想で武装させ、個人の利益ではなく、社会全般の利益を大事にするようにさせ、国家と社会の財産を惜しみ、愛するようにすることです。

この運動は、国の各分野に速いスピードで伝播されました。国家機関と生産および経済機関で一部の幹部たちの中に残っている官僚主義と形式主義に反対する闘争が行われました。従業員総会が開かれ、思想残滓と古い生活方式が批判されました。

教育機関と文化機関では日本帝国主義時期の奴隸教育の残滓を一掃するための活動が繰り広げられ、学生の中で次第に革命的気風が確立されました。

農村と漁村、住民地域で怠け者や詐欺師などの全ての害悪分子を摘発して一掃するための闘争が繰り広げられました。

主席の教えに呼応して全ての勤労者が古い思想残滓を一掃するための活動に参加し、

建国思想総動員運動は大衆の中で幅広く深く、また実践活動と密接に結びついて発展されました。

主席が提示した「その日の仕事はその日のうちに成し遂げよう！」というスローガンのもとに労働者、農民、勤労インテリの中では自分の事業で自分自身のためでなく他人のために、全般社会のために労働する気風がもっと頻繁に発揮されました。

人民大衆のなかで建国の志向は政治的自発性、愛国的熱意と革命的積極性に表現されました。

定州鉄道機関区集団は愛国的献身性を発揮して故障された車両と機関車を修理する課程に鉄道運行の正常化を保障するために労働生産能率を高めるための愛国運動の烽火を上げました。

建国思想を具現するための愛国運動は農民の中でも活発に行われました。農民の中でこの運動は、食糧問題の解決に助けになるための愛国米献納運動に発展しました。

この運動の発起者は黄海道載寧郡の金済元農民でした。

金済元農民の善行と彼を支持して呼応した農民に送った祝賀文で主席は次のように述べました。

「すべてが不足し、とくに食糧事情が困難な状況下で進められている建国事業は、金済元同志のような農民の祖国と人民のための愛国的増産運動や創意的運動によってのみ可能であります。」

建国思想総動員運動は企業家と商人の中でも国家にさまざまな形式で寄付する運動として繰り広げられました。

企業家たちは次代育成に関する金日成主席の思想も積極的に支持しました。彼らは自分の資金と製品を学校の建設基金として惜しみなく捧げました。

建国思想総動員運動は自然改造のための集団的労働でも特別に強く繰り広げられました。

主席は大自然改造の最初の事業として、平壤と首都市民の生命と財産を洪水の被害から守るための普通江改修工事を発起しました。

1946年5月、主席は工事の着工式に自ら参席しました。

平壤市民は55日間目に普通江改修工事を終える奇跡を創造しました。

1946年3月2日、金日成主席は家族と一緒に牡丹峰に登って植樹をし、1947年4月6日には紋繡峰に木を植えました。

これが多くの人民を呼び起こし、結果、朝鮮では植樹運動が大衆的な運動として展開されました。

三神運炭線工事と鴨緑江護岸工事、龍興江改修工事、海州港と端川港の建設工事でも大きな成果が収められました。

広範な人民大衆自身の事業に転換された建国思想総動員運動は社会生活の全ての分野に深く波及されて古い思想と生活方式を根絶しました。社会には漸次的に新たな民主生活気風が確立されて朝鮮で思想革命を展開することに寄与しました。

結局、朝鮮の北半部地域では朝鮮人民が長きに渡って待ちに待った政権が樹立されました。

北朝鮮労働党は革命的改革に関する幅広い計画を実現し、人民大衆を人民経済発展をめざす闘争へと呼び起こしました。

これは大きな力を集中すべき難しい課題でした。

これら全ての活動で朝鮮共産主義者は人民大衆の創意性と積極性に依拠しました。

偉大な金日成主席は全国的に繰り広げられたこの運動の本質を次のように明らかにしました。

「建国思想を身につけるためには、自分の職務に対する主人らしい気風をもつことがなによりも大切であります。すべての労働者はいまの自分の仕事が過去のように強盗日本帝国主義者のためではなく、祖国と民族と自分自身の幸せな生活のためであることをはっきり知るべきです。

...

すべての労働者は高度の民族的誇りと自負心をいだかなければなりません。」

新しい民主社会建設が積極化されるにつれ、人々の頭の中では大きな変化が起こりました。

とくに人民大衆の政治的熱意が高まりました。

これは国で行われる建国事業に広範な人民大衆を参加させることのできる可能性をつくりだしました。